

## 平成24年全国町村長大会 来賓挨拶

全国町村長大会の開催に当たり、心よりお祝い申し上げます。

皆様には、日頃から、地域の住民に最も身近な自治体において、町長、あるいは村長として、その重責を担っていらっしゃることに敬意を表します。

地方自治が地域主権改革の大きな流れにある中で、先の通常国会においては、地方自治法の一部を改正する法律が成立いたしました。その一方で、臨時国会の閉会に伴い、いわゆる「義務付け・枠付けの見直し」は、残念ながら道半ばとなってしまいました。

地方自治を巡っては、東日本大震災からの復興に向けた取組、社会保障と税の一体改革への対応、また、基幹産業である農林水産業の活性化など課題は山積しています。

自然に恵まれた環境、人々の温かさ、伝統ある文化—そうしたものに人々は引きつけられ、「ここで暮らしてみたい」、「こんなところを旅してみたい」、そう感じるものです。

こうした魅力こそ、皆様の暮らす町や村に息づいています。

そして、何より、地域の住民から「ここに暮らしてよかった」と満足してもらえることは皆様にとって大変喜ばしいことであろうと思います。地域の自主性・自立性を高めるための改革が進展する中で、そのけん引役である皆様にますますの期待がかかります。

本日の大会が、実り多いものとなりますよう祈念いたしますとともに、全国町村会の更なる発展と、御列席の皆様の一層の御活躍、御健勝をお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成24年11月21日

参議院議長

平 田 健 二